

# FAST

機能分析スクリーニングツール (Functional Analysis Screening Tool)

## 記入例

対象者: 佐藤太郎(利用児(者)・児童の氏名を記入) 日付: 〇〇年〇月〇日 (FASTの記入日を記入)

記入者: 鈴木一郎 (FASTを記入する支援者の氏名を記入) 担当者: FASTや行動観察の記録をまとめ、行動の機能を  
確定する人の氏名を記入します(今回は省略)

以下のIとIIのセクションに記入してください。その後、IIIのセクションの各質問を注意深く読み、「はい」または「いいえ」  
に丸をつけて答えてください。分からない場合は、「不明」に丸をつけてください。

### I 記入者と対象者との関係

1. 対象者との関係を記入してください。

保護者 支援者(教育関係・医療関係・福祉関係) その他(具体的に: )

2. 対象者とどのくらいの期間関わっていますか? およそ 3 年 6 ヶ月

3. 対象者と毎日関わりがありますか? はい いいえ

4. あなたは普段、どのような場面で対象者と接しますか?

食事 余暇 身辺自立 学習指導 仕事/職業訓練 その他(具体的に: )

### II 問題行動に関する情報

1. 問題行動(具体的に記述し、その中で機能を評価したい行動について1つ選び、□の中に✓をいれてください:)

(1) 自身の頭を叩く

(2)

(3)

(4)

(5)

評定する行動は、FAST評定1回につき1つの行動になります。  
今回は頻度が週に1回以上の行動を1つ選択し、  
もう一人の記入者にも同じ行動(可能であれば同じ場面での行動)  
を評価してもらってください。

「1. 問題行動」で✓をいれた行動について、以下に記入してください。

2. 頻度:  1時間に1回  1日に1回  週に1回  あまり頻繁ではない

3. 重症度:  軽度: まわりに迷惑をかけるが、自分や他人への被害はほとんどなし

中度: 物を壊したり、軽微な傷

重度: 健康または安全に対する重大な脅威

各回答の中間の場合は各回答  
に“以上”をつけて判断してく  
ださい(例: 1日に1回以上)

4. その問題行動が最も起こりやすい状況:

曜日/時間帯 ほぼ毎日17時から18時ごろ

場面/活動 余暇の時間、ホールでテレビを見ている時

その場にいる人 スタッフ・他の利用者

5. その問題行動が最も起こりにくい状況:

曜日/時間帯 日曜日の夕食後、19時ごろ

場面/活動 個室での余暇の時間、本人の好きなDVDを見ている時

その場にいる人 本人のみ

6. その問題行動が起きる直前、対象者のおかれた状況はどのようなものですか?

他の利用者と一緒に夕方の教育番組を見ている。スタッフは食事の準備をしている。

7. その問題行動が起きた直後、対象者に対して何がもたらされますか?

スタッフから注目を得られる。DVDが見れる。

8. 現在、行っている対応:

本人に近寄って頭を叩かないように声掛けする。スタッフが DVD を準備し、見てもらう。  
スタッフが DVD を準備し、見てもらう。

機能は同じ行動でも場面によって異なる可能性があります。  
可能であれば、1つの場面を想定して記入してください。

III 問題行動に関する質問

「II 1. 問題行動」で✓をいれた行動について、以下の質問に教えてください。

番号	質問	選択肢
1	問題行動は、対象者が注目を得られていないとき、あるいは介護者が他の人に注意を向けているときに起こりますか？	はい・いいえ・不明
2	問題行動は、対象者が好む物や活動を拒否されたり、それらを取り上げられたりしたときに起こりますか？	はい・いいえ・不明
3	問題行動が起きたとき、介護者は通常、対象者を落ち着かせようとするか、対象者が好む活動に参加させますか？	はい・いいえ・不明
4	対象者は通常、多くの注目が得られているときや、好きな活動をしているとき、問題行動なしに過ごさせていますか？	はい・いいえ・不明
5	通常、課題をするように求められたり活動への参加を求められたりすると、騒いだり、抵抗したりしますか？	はい・いいえ・不明
6	問題行動は、課題をし活動に参加するように求められたときに起こりますか？	はい・いいえ・不明
7	課題をするように求められている場面で問題行動が起きた場合、対象者は通常その課題を「休憩」してよいことになりますか？	はい・いいえ・不明
8	通常、対象者は何もする必要がないとき、問題行動なしに過ごさせていますか？	はい・いいえ・不明
9	問題行動は、誰も近くにいなかったり、見ていなかったりしても起こりますか？	はい・いいえ・不明
10	対象者は、好きな活動をしてよいときでも問題行動を起こしますか？	はい・いいえ・不明
11	問題行動は"自己刺激"の形態の一つとして起きているようにみえますか？	はい・いいえ・不明
12	問題行動は、感覚を刺激する活動が提示されると起こりにくくなりますか？	はい・いいえ・不明
13	問題行動は、周期的で、数日間起きては止まりますか？	はい・いいえ・不明
14	耳の感染症やアレルギーなど、痛みを伴う症状を繰り返していますか？ ある場合、下記に書いてください。具体的に:	はい・いいえ・不明
15	問題行動は、病気のとくに起こりやすいですか？	はい・いいえ・不明
16	対象者が身体的な問題を抱えており、それが治療されている場合、問題行動は通常おさまりますか？	はい・いいえ・不明

採点

各質問で「はい」と答えた番号に丸をつけ、「合計数」の欄に丸をつけた項目の数を記入してください。

「はい」に丸をつけた項目	合計数	想定される機能
1 2 3 4	3	社会的 (注目の要求/好みのものや活動の要求)
5 6 7 8	1	社会的 (課題や活動からの逃避)
9 10 11 12	1	自動的 (感覚刺激)
13 14 15 16	0	自動的 (痛みの軽減)

ここで合計数の多い項目が想定される機能となります。なお、行動の機能が複数ある場合もあります。

担当者の方へ

FAST は、問題行動に影響を及ぼす可能性のある要因を特定します。FAST は、行動の包括的な機能分析の一環としてのスクリーニングにのみ使用してください。対象者と頻繁に接する複数の人に FAST を実施してください。そして、FAST の結果をもとに、いくつかの異なる状況での直接観察を行い、疑われる行動機能を確認し、問題行動に影響を与える可能性のある他の要因を特定してください。

# FAST

機能分析スクリーニングツール (Functional Analysis Screening Tool)

対象者： 日付：  
記入者： 担当者：

## 記入者の方へ

以下の I と II のセクションに記入してください。その後、III のセクションの各質問を注意深く読み、"はい"または "いいえ" に丸をつけて答えてください。分からない場合は、"不明" に丸をつけてください。

### I 記入者と対象者との関係

- 対象者との関係を記入してください。  
保護者 支援者 (教育関係・医療関係・福祉関係) その他 (具体的に: \_\_\_\_\_)
- 対象者とどのくらいの期間関わっていますか? およそ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ ヶ月
- 対象者と毎日関わりがありますか? はい・いいえ
- あなたは普段、どのような場面で対象者と接しますか?  
食事 余暇 身辺自立 学習指導 仕事/職業訓練 その他 (具体的に: \_\_\_\_\_)

### II 問題行動に関する情報

- 問題行動 (具体的に記述し、その中で機能を評価したい行動について1つ選び、□の中に✓をいれてください:)  
 (1) \_\_\_\_\_  
 (2) \_\_\_\_\_  
 (3) \_\_\_\_\_  
 (4) \_\_\_\_\_  
 (5) \_\_\_\_\_

「1. 問題行動」で✓をいれた行動について、以下に記入してください。

- 頻度:  1時間に1回  1日に1回  週に1回  あまり頻繁ではない
- 重症度:  軽度: まわりに迷惑をかけるが、自分や他人への被害はほとんどなし  
 中度: 物を壊したり、軽微な傷  
 重度: 健康または安全に対する重大な脅威
- その問題行動が最も起こりやすい状況:  
曜日/時間帯 \_\_\_\_\_  
場面/活動 \_\_\_\_\_  
その場にいる人 \_\_\_\_\_
- その問題行動が最も起こりにくい状況:  
曜日/時間帯 \_\_\_\_\_  
場面/活動 \_\_\_\_\_  
その場にいる人 \_\_\_\_\_
- その問題行動が起きる直前、対象者のおかれた状況はどのようなものですか?  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

- その問題行動が起きた直後、対象者に対して何がおきますか?  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

8. 現在、行っている対応:

III 問題行動に関する質問

「II 1. 問題行動」で✓をいれた行動について、以下の質問に教えてください。

番号	質問	選択肢
1	問題行動は、対象者が注目を得られていないとき、あるいは支援者が他の人に注意を向けているときに起こりますか？	はい・いいえ・不明
2	問題行動は、対象者が好む物や活動を拒否されたり、それらを取り上げられたりしたときに起こりますか？	はい・いいえ・不明
3	問題行動が起きたとき、支援者は通常、対象者を落ち着かせようとするか、対象者が好む活動に参加させますか？	はい・いいえ・不明
4	対象者は通常、多くの注目が得られているときや、好きな活動をしているとき、問題行動なしに過ごさせていますか？	はい・いいえ・不明
5	通常、課題をするように求められたり活動への参加を求められたりすると、騒いだり、抵抗したりしますか？	はい・いいえ・不明
6	問題行動は、課題をし活動に参加するように求められたときに起こりますか？	はい・いいえ・不明
7	課題をするように求められている場面で問題行動が起きた場合、対象者は通常その課題を一時的にやらなくてもすむことになりますか？	はい・いいえ・不明
8	通常、対象者は何もする必要がないとき、問題行動なしに過ごさせていますか？	はい・いいえ・不明
9	問題行動は、誰も近くにいないとき、または、見ていないときでも、起こりますか？	はい・いいえ・不明
10	対象者は、好きな活動をしてよいときでも問題行動を起こしますか？	はい・いいえ・不明
11	問題行動は"自己刺激"の形態の一つとして起きているようにみえますか？	はい・いいえ・不明
12	問題行動は、感覚を刺激する活動が提示されると起こりにくくなりますか？	はい・いいえ・不明
13	問題行動は、周期的で、数日間起きては止まりますか？	はい・いいえ・不明
14	耳の感染症やアレルギーなど、痛みを伴う症状を繰り返していますか？ ある場合、具体的に書いてください:	はい・いいえ・不明
15	問題行動は、体調が悪いときに起こりやすいですか？	はい・いいえ・不明
16	対象者が身体的な問題を抱えている場合、治療・対処されれば、問題行動は通常おさまりますか？	はい・いいえ・不明

採点

各質問で「はい」と答えた番号に丸をつけ、「合計数」の欄に丸をつけた項目の数を記入してください。

「はい」に丸をつけた項目	合計数	強化の可能性がある要因
1 2 3 4		社会的 (注目/好みのものや活動)
5 6 7 8		社会的 (課題や活動からの逃避)
9 10 11 12		自動的 (感覚刺激)
13 14 15 16		自動的 (痛みの軽減)

担当者の方へ

FASTは、問題行動に影響を与える可能性のある要因を特定します。FASTは、行動の包括的な機能分析の一環としてのスクリーニングにのみ使用してください。対象者と頻繁に接する複数の人にFASTを実施してください。そして、FASTの結果をもとに、仮説された行動機能を確認し、また、問題行動に影響を与える可能性のある他の要因を見つけるため、いくつかの異なる状況下で直接観察を行って下さい。

本シートは原著者であるブライアン・イワタ教授より許可を得て開発されたものです。日本語版の責任は井上雅彦(鳥取大学)にあります。営利目的でなく支援に使用される場合はご自由にお使いください。許可なく改変されることはご遠慮ください。